

地震が続く悪石島から船で避難

地震	じしん	日本では地震が多いです。	earthquake
避難	ひなん	地震の時に避難します。	evacuation
役場	やくば	役場で手続きをします。	city hall
船	ふね	船で海を渡ります。	boat
役場は、このあとも、避難したい人たちに船やホテルを準備すると言っています。		The phrase '言っています' translates to 'is saying' and indicates a present continuous action or a statement made by someone. '避難したい人たち' means 'people who want to evacuate', qualifying who the preparations are for. '船やホテルを準備する' means 'to prepare ships and hotels', showing the actions that will be taken.	

熊本県 雨で大きな被害を受けてから5年

災害	さいがい	災害は怖いです。	disaster
建物	たてもの	新しい建物が建っています。	building
被害	ひがい	被害を受けた人がいます。	damage
祈り	いのり	祈りを捧げます。	prayer
中学生は「水の中を歩いて避難したことを覚えています。自分たちがを変えたいと思います」と話していました。		The structure '歩いて' is the te-form of '歩く' (to walk), used here to connect actions. '避難した こと' translates to 'the act of evacuating', showing that they remember a specific experience. '思います' means 'to think', and '変えたい' is the desire form of '変える' (to change), expressing their wish to change something about themselves.	

日本人が書いた小説が初めてイギリスの「ダガー賞」

小説	しょうせつ	小説を読むのが好きです。	novel
翻訳	ほんやく	翻訳の仕事をしています。	translation
賞	しょう	賞を受け取りました。	award
希望	きぼう	未来に希望があります。	hope
この小説は、ヤクザの世界の中で2人の女性が生きる希望をさがす話です。		The phrase '生きる 希望 を さがす' means 'search for hope to live'. Here, '生きる' (to live) modifies '希望' (hope) to specify what kind of hope it is. The structure 'の中で' indicates 'within' or 'inside the world of Yakuza', creating a context for the two women. The entire sentence describes the story of the novel, establishing its central theme.	

大阪・関西万博 日本を紹介する「ジャパンデー」

万博	ばんぱく	万博は楽しいイベントです。	expo
文化	ぶんか	文化を学ぶことが大事です。	culture
伝統	でんとう	伝統を大切にしています。	tradition
音楽	おんがく	音楽を聴くのが好きです。	music
人気キャラクターの「ハローキティ」や「くまモン」が会場を歩いて、多くの人々が写真を撮っていました。		The phrase '歩いて' is the te-form of '歩く' (to walk), which connects to the next clause. '多くの人々が写真を撮っていました' means 'many people were taking photos', where '撮っていました' is the past continuous form of '撮る' (to take). This structure indicates simultaneous actions happening in the context.	